

(5) 果樹

作物名	栽培型 又は 作型	品種名	樹齡 (年)	栽植本数 (本/10a)	作型模式図											
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
なし	露地	幸水 新高 あきづき にっこり	1	80												
			2~3	80												
		幸水	4~5	80												
			6~7	40												
			8以上 (成木)	20												
		豊水 あきづき 新高	4~5	80												
	6~7		40													
	8以上 (成木)		20													
	にっこり	4~5	80													
		6~7	40													
		8以上 (成木)	20													
	ハウス	幸水	8以上 (成木)	20												

目標収量 (kg/10a)	適正 pH	施肥量 (kg/10a)				堆肥及び土づくり資材等の施用例 (10a当たり)	備考		
		成分	基肥	追肥	成分 合計				
						1回			
1,000	6.0 ~ 6.5	N	2.0	1.0	3.0	未結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を500kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素：0.4kg りん酸：2.0kg 加里：4.1kgを差し引く】 ・苦土炭カルを30~40kg施用する。	1. 黒ボク土を基準とした。 2. 黒ボク土以外では、窒素を10~15%増肥する。 3. 植付け時の基肥は、掘り上げた土とよく混和し、植穴に施用する。		
		P ₂ O ₅	3.0		3.0				
		K ₂ O	2.5	1.0	3.5				
		N	3.5	1.5	5.0				
		P ₂ O ₅	4.0		4.0				
		K ₂ O	4.0	1.0	5.0				
		N	8.0	2.0	10.0			結果樹(4~7年生) ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素：0.7kg りん酸：4.0kg 加里：8.2kgを差し引く】 ・苦土炭カルを60~80kg施用する。	4. 幸水の結果樹の追肥(礼肥)は、収穫終了直後に行う。 5. 豊水以降の中晩生品種は、全量基肥とし追肥(礼肥)を施用しない。
		P ₂ O ₅	8.0		8.0				
		K ₂ O	9.0	2.0	11.0				
		N	10.0	3.0	13.0				
		P ₂ O ₅	9.0		9.0				
		K ₂ O	11.0	2.0	13.0				
N	15.0	5.0	20.0	結果樹(成木) ・オガクズ牛ふん堆肥を2,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素：1.4kg りん酸：8.0kg 加里：16.4kgを差し引く】	6. ようりんなどの土づくり肥料は、土壌診断結果に基づき施用する。 7. 栽植本数は目安を示したもので、樹冠の拡大状況に合わせて縮伐、間伐を行う。				
P ₂ O ₅	13.0		13.0						
K ₂ O	15.0	3.0	18.0						
N	10.0		10.0						
P ₂ O ₅	8.0		8.0						
K ₂ O	11.0		11.0						
N	13.0		13.0						
P ₂ O ₅	9.0		9.0						
K ₂ O	13.0		13.0						
N	20.0		20.0						
P ₂ O ₅	13.0		13.0						
K ₂ O	18.0		18.0						
2,500		N	15.0	5.0	20.0				
		P ₂ O ₅	13.0		13.0				
		K ₂ O	15.0	3.0	18.0				

作物名	栽培型 又は 作 型	品種名	樹齡 (年)	栽植本数 (本/10a)	作 型 模 式 図											
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ぶどう	露 地	巨 峰	1	48												
			2~4	48												
			5~6	24												
			7~8	12												
			9~10	6												
			11以上 (成木)	6												
ハウス		巨 峰	11以上 (成木)	6												
露 地	キャンベル アーリー シャインマ スカット		1	40												
			2~3	40												
			4~5	40												
			6~7	20												
			8以上 (成木)	10												
雨よけ (簡易被 覆)		キャンベル アーリー	8以上 (成木)	10												

目標収量 (kg/10a)	適正 pH	施 肥 量 (kg/10a)				堆肥及び土づくり資材等の施用例 (10a当たり)	備 考	
		成分	基肥	追肥	成分 合計			
				1回				
		N	0	0.5	0.5	未結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を500kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒 素 : 0.4kg りん酸 : 2.0kg 加 里 : 4.1kg を差し引く】 ・苦土炭カルを30~40kg施用する。	1. 黒ボク土を基準とした。 2. 黒ボク土以外では、窒素を20%増肥する。 3. 樹勢が旺盛なときは、基肥に窒素を施用しない。 4. 窒素の施用量は、樹相診断と結果量によって決める。 5. 追肥は、落花後できるだけ早く行う。 6. ようりんなどの土づくり肥料は、土壌診断結果に基づき施用する。 7. 収量、栽植本数は目安を示したものであるため、樹勢に応じ加減する。	
400	6.5 ~ 7.0	N	0	0~2.0	0~2.0			結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒 素 : 0.7kg りん酸 : 4.0kg 加 里 : 8.2kg を差し引く】 ・苦土炭カルを60~80kg施用する。
800		N	0	0~2.0	0~2.0			
1,200		N	0~2.0	2.0	2.0~4.0			
1,400		N	2.0~4.0	2.0~4.0	4.0~8.0			
1,600		N	4.0~6.0	4.0	4.0~10.0			
1,600	6.5 ~ 7.0	N	4.0~6.0	4.0	8.0~10.0			
		N	0.5	0.5	1.0	未結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を500kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒 素 : 0.4kg りん酸 : 2.0kg 加 里 : 4.1kg を差し引く】 ・苦土炭カルを30~40kg施用する。	1. 黒ボク土を基準とした。 2. 黒ボク土以外では、窒素を20%増肥する。 3. 追肥は落花後できるだけ早く行う。 4. ようりんなどの土づくり肥料は、土壌診断に基づき施用する。 5. 収量、栽植本数は目安を示したものであるため、樹勢に応じ加減する。	
400	6.0 ~ 7.0	N	1.5	0.4	1.9			
1,000		N	4.0	1.0	5.0			
1,500		N	6.0	2.0	8.0			
2,000		N	8.0	2.0	10.0			
1,800	6.5 ~ 7.0	N	8.0	2.0	10.0			

作物名	栽培型 又は 作型	品種名	樹齡 (年)	栽植本数 (本/10a)	作 型 模 式 図											
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
りんご	露地 (マルバ台)	つがる 秋映 ジノサイト ジョナゴールド ぐんま名月 ふじ	1	80												
			2~3	80												
			4~6	80												
			7~9	40												
			10以上 (成木)	20												
	露地 (わい性台)	つがる 秋映 ジノサイト ジョナゴールド ぐんま名月 ふじ	1	100												
			2	100												
			3~4	100												
			5~6	100												
			7以上 (成木)	50~70												

目標収量 (kg/10a)	適正 pH	施 肥 量 (kg/10a)				堆肥及び土づくり資材等の施用例 (10aあたり)	備 考		
		成分	基肥	追肥					
				1回	成分 合計				
1,000	5.5 ~ 6.0	N	0.5	0.5	1.0	未結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を500kg施用する。 【この場合、左の基肥から窒素：0.4kg りん酸：2.0kg 加里：4.1kgを差し引く】 ・苦土炭カルを30~40kg施用する。 ・ようりんを20~30kg施用する。	1. 黒ボク土を基準とした。 2. 黒ボク土以外では、窒素を20~30%増肥する。 3. 植付け時の基肥は、植穴に施用する。		
		P ₂ O ₅	2.5		2.5				
		K ₂ O	2.0	0.5	2.5				
		N	1.0		1.0				
		P ₂ O ₅	2.5		2.5				
		K ₂ O	2.5		2.5				
		N	2.0	1.0	3.0			結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から窒素：0.7kg りん酸：4.0kg 加里：8.2kgを差し引く】 ・苦土炭カルを60~80kg施用する。 ・ようりんを40~60kg施用する。	4. ほう素入り肥料を1年おきに施用する。 5. 樹勢の弱い品種は、窒素を10~30%増比する。
		P ₂ O ₅	5.0		5.0				
		K ₂ O	5.0	2.5	7.5				
		N	3.0	2.0	5.0				
P ₂ O ₅	8.0		8.0						
K ₂ O	7.0	3.0	10.0						
N	4.0	2.0	6.0						
P ₂ O ₅	9.0		9.0						
K ₂ O	9.0	4.0	13.0						
500	5.5 ~ 6.0	N	0.0	1.0	1.0	未結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を500kg施用する。 【この場合、左の基肥から窒素：0.4kg りん酸：2.0kg 加里：4.1kgを差し引く】 ・苦土炭カルを60~80kg施用する。 ・ようりんを60~80kg施用する。	6. ようりんなどの土づくり肥料は、土壌診断に基づき施用する。 7. 収量、栽植本数は目安を示したもので、樹勢に応じ加減する。		
		P ₂ O ₅	2.5		2.5				
		K ₂ O	1.5	1.0	2.5				
		N	1.0		1.0				
		P ₂ O ₅	2.5		2.5				
		K ₂ O	2.5		2.5				
		N	2.0		2.0			結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から窒素：0.7kg りん酸：4.0kg 加里：8.2kgを差し引く】 ・苦土炭カルを60~80kg施用する。 ・ようりんを60~80kg施用する。	8. 同じ堆肥を連用すると、りん酸や加里等が過剰となることがあるので、注意する。
		P ₂ O ₅	5.0		5.0				
		K ₂ O	5.0		5.0				
		N	3.0	2.0	5.0				
P ₂ O ₅	8.0		8.0						
K ₂ O	9.0	4.0	13.0						
N	4.0	2.0	6.0						
P ₂ O ₅	9.0		9.0						
K ₂ O	11.0	4.0	15.0						
3,000	5.5 ~ 6.0	N	4.0	2.0	6.0	結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から窒素：0.7kg りん酸：4.0kg 加里：8.2kgを差し引く】 ・苦土炭カルを60~80kg施用する。 ・ようりんを60~80kg施用する。			
		P ₂ O ₅	9.0		9.0				
		K ₂ O	11.0	4.0	15.0				

作物名	栽培型 又は 作 型	品種名	樹齡 (年)	栽植本数 (本/10a)	作 型 模 式 図											
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
うめ	露地	白加賀 玉英高	1	48												
			2	48												
			3~4	48												
			5~9	24												
			10以上 (成木)	12												
かき	露地	平核無 蜂屋 (甲州百目)	1	77												
			2~3	77												
			4~8	77												
			9~12	38												
			13以上 (成木)	19												
キウイ フルーツ	露地	ハイワード	1	33~40												
			2	33~40												
			3~4	33~40												
			5~7	33~40												
			8~10	12~15												
			11以上 (成木)	12~15												

目標収量 (kg/10a)	適正 pH	施肥量 (kg/10a)			堆肥及び土づくり資材等の施用例 (10a当たり)	備 考	
		成分	基肥	追肥 1回			成分 合計
200 ~ 600	5.5 ~ 6.0	N	1.0	1.0	2.0	未結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を500kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素 : 0.4kg りん酸 : 2.0kg 加里 : 4.1kg を差し引く】 ・苦土炭カルを20~30kg施用する。 ・ようりんを10~20kg施用する。	1. 黒ボク土を基準とした。 2. 黒ボク土以外では、窒素を10~15%増肥する。 3. 植え付け1年目の基肥は、植え穴に施用する。 4. 苦土炭カル、ようりんなどの土づくり肥料は、土壌診断により加減する。特に、栽植8年目以降や改植の場合は、過剰となる場合が多いので注意する。
		P ₂ O ₅	2.0		2.0		
		K ₂ O	2.0		2.0		
		N	2.0		2.0		
		P ₂ O ₅	2.5		2.5		
600 ~ 1,000	5.5 ~ 6.0	K ₂ O	2.5		2.5	結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素 : 0.7kg りん酸 : 4.0kg 加里 : 8.2kg を差し引く】 ・苦土炭カルを40~60kg施用する。 ・ようりんを20~40kg施用する。	5. 収量、栽植本数は目安を示したもので、樹勢に応じ加減する。
		N	3.0	1.0	4.0		
		P ₂ O ₅	6.0		6.0		
1,000 ~ 1,500	5.5 ~ 6.0	K ₂ O	6.0	1.0	7.0	結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素 : 0.7kg りん酸 : 4.0kg 加里 : 8.2kg を差し引く】 ・苦土炭カルを40~60kg施用する。 ・ようりんを20~40kg施用する。	5. 収量、栽植本数は目安を示したもので、樹勢に応じ加減する。
		N	6.0	2.0	8.0		
		P ₂ O ₅	9.0		9.0		
200 ~ 800	5.5 ~ 6.5	N	1.0	1.0	2.0	未結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を500kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素 : 0.4kg りん酸 : 2.0kg 加里 : 4.1kg を差し引く】 ・苦土炭カルを20~30kg施用する。 ・ようりんを10~20kg施用する。	1. 黒ボク土を基準とした。 2. 黒ボク土以外では、窒素を10~15%増肥する。 3. 植え付け1年目の基肥は、植え穴に施用する。 4. 苦土炭カル、ようりんなどの土づくり肥料は、土壌診断により加減する。特に、栽植8年目以降や改植の場合は、過剰となる場合が多いので注意する。
		P ₂ O ₅	4.5		4.5		
		K ₂ O	2.5	1.0	3.5		
1,000 ~ 1,800	5.5 ~ 6.5	N	2.0		2.0	結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素 : 0.7kg りん酸 : 4.0kg 加里 : 8.2kg を差し引く】 ・苦土炭カルを40~60kg施用する。 ・ようりんを20~40kg施用する。	5. 収量、栽植本数は目安を示したもので、樹勢に応じ加減する。
		P ₂ O ₅	4.5		4.5		
		K ₂ O	3.5		3.5		
2,000	5.5 ~ 6.0	N	8.0	2.0	10.0	結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素 : 0.7kg りん酸 : 4.0kg 加里 : 8.2kg を差し引く】 ・苦土炭カルを40~60kg施用する。 ・ようりんを20~40kg施用する。	5. 収量、栽植本数は目安を示したもので、樹勢に応じ加減する。
		P ₂ O ₅	11.0		11.0		
		K ₂ O	11.0	2.0	13.0		
600 ~ 1,000	5.5 ~ 6.0	N	12.0	4.0	16.0	結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素 : 0.7kg りん酸 : 4.0kg 加里 : 8.2kg を差し引く】 ・苦土炭カルを40~60kg施用する。 ・ようりんを20~40kg施用する。	4. 収量、栽植本数は目安を示したもので、樹勢に応じ加減する。
		P ₂ O ₅	16.0		16.0		
		K ₂ O	15.0	4.0	19.0		
600 ~ 1,000	5.5 ~ 6.0	N	14.0	4.0	18.0	結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素 : 0.7kg りん酸 : 4.0kg 加里 : 8.2kg を差し引く】 ・苦土炭カルを40~60kg施用する。 ・ようりんを20~40kg施用する。	4. 収量、栽植本数は目安を示したもので、樹勢に応じ加減する。
		P ₂ O ₅	16.0		16.0		
		K ₂ O	17.0	4.0	21.0		
1,000 ~ 1,500	5.5 ~ 6.0	N	0.0	0.5	0.5	未結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を500kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素 : 0.4kg りん酸 : 2.0kg 加里 : 4.1kg を差し引く】 ・苦土炭カルを30~40kg施用する。 ・ようりんを10~20kg施用する。	1. 黒ボク土を基準とした。 2. 黒ボク土以外では、窒素を10~15%増肥する。 3. 苦土炭カル、ようりんなどの土づくり肥料は、土壌診断により加減する。特に、栽植8年目以降や改植の場合は、過剰となる場合が多いので注意する。
		P ₂ O ₅	2.5		2.5		
		K ₂ O	2.5	0.5	3.0		
1,000 ~ 1,500	5.5 ~ 6.0	N	0.5		0.5	未結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を500kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素 : 0.4kg りん酸 : 2.0kg 加里 : 4.1kg を差し引く】 ・苦土炭カルを30~40kg施用する。 ・ようりんを10~20kg施用する。	1. 黒ボク土を基準とした。 2. 黒ボク土以外では、窒素を10~15%増肥する。 3. 苦土炭カル、ようりんなどの土づくり肥料は、土壌診断により加減する。特に、栽植8年目以降や改植の場合は、過剰となる場合が多いので注意する。
		P ₂ O ₅	3.5		3.5		
		K ₂ O	3.5		3.5		
1,000 ~ 1,500	5.5 ~ 6.0	N	2.5	0.5	3.0	結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素 : 0.7kg りん酸 : 4.0kg 加里 : 8.2kg を差し引く】 ・苦土炭カルを60~80kg施用する。 ・ようりんを20~40kg施用する。	4. 収量、栽植本数は目安を示したもので、樹勢に応じ加減する。
		P ₂ O ₅	7.0		7.0		
		K ₂ O	6.0	2.0	8.0		
1,000 ~ 1,500	5.5 ~ 6.0	N	6.5	1.5	8.0	結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素 : 0.7kg りん酸 : 4.0kg 加里 : 8.2kg を差し引く】 ・苦土炭カルを60~80kg施用する。 ・ようりんを20~40kg施用する。	4. 収量、栽植本数は目安を示したもので、樹勢に応じ加減する。
		P ₂ O ₅	9.0		9.0		
		K ₂ O	8.0	3.0	11.0		
1,000 ~ 1,500	5.5 ~ 6.0	N	8.0	2.0	10.0	結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素 : 0.7kg りん酸 : 4.0kg 加里 : 8.2kg を差し引く】 ・苦土炭カルを60~80kg施用する。 ・ようりんを20~40kg施用する。	4. 収量、栽植本数は目安を示したもので、樹勢に応じ加減する。
		P ₂ O ₅	11.0		11.0		
		K ₂ O	9.0	4.0	13.0		
1,000 ~ 1,500	5.5 ~ 6.0	N	12.0	3.0	15.0	結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素 : 0.7kg りん酸 : 4.0kg 加里 : 8.2kg を差し引く】 ・苦土炭カルを60~80kg施用する。 ・ようりんを20~40kg施用する。	4. 収量、栽植本数は目安を示したもので、樹勢に応じ加減する。
		P ₂ O ₅	15.0		15.0		
		K ₂ O	11.5	5.5	17.0		

作物名	栽培型 又は 作型	品種名	樹齡 (年)	栽植本数 (本/10a)	作 型 模 式 図											
					1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
くり	露地	丹 沢 国 見 筑 波 利 平 石 鑑	1	48												
			2~3	48												
			4~6	48												
			7~8	24												
			9以上 (成木)	12												
もも	露地	日 川 白 鳳 あ かつ き 川 中 島 白 桃	1	48												
			2~3	48												
			4~5	48												
			6~7	24												
			8以上 (成木)	12												
すもも	露地	大 石 早 生 ソ ル ダ ム	1	48												
			2~3	48												
			4~5	48												
			6~7	24												
			8~10	12												
			11以上 (成木)	12												

目標収量 (kg/10a)	適正 pH	施肥量 (kg/10a)				堆肥及び土づくり資材等の施用例 (10a当たり)	備 考		
		成分	基肥	追肥				成分 合計	
				1回	2回				
100 250 300	5.0 ~ 5.5	N	1.0	1.0		2.0	未結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を500kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素：0.4kg りん酸：2.0kg 加里：4.1kgを差し引く】 ・苦土炭カルを20~30kg施用する。 ・ようりんを10~20kg施用する。	1. 黒ボク土を基準とした。 2. 黒ボク土以外では、窒素を10~15%増肥する。 3. 植付け時の基肥は、植穴に施用する。	
		P ₂ O ₅	3.5			3.5			
		K ₂ O	3.5			3.5			
		N	2.5	0.5		3.0			
		P ₂ O ₅	4.5			4.5			
		K ₂ O	4.0			4.0			
	100 250 300	5.0 ~ 5.5	N	4.0	1.0		5.0	結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素：0.7kg りん酸：4.0kg 加里：8.2kgを差し引く】	4. 結果樹の苦土炭カル、ようりんなどの土づくり肥料は、土壌診断を行い不足する場合に施用する。 5. 収量、栽植本数は目安を示したもので、樹勢に応じ加減する。
			P ₂ O ₅	7.0			7.0		
			K ₂ O	6.0	1.0		7.0		
			N	7.0	2.0		9.0		
			P ₂ O ₅	8.0			8.0		
			K ₂ O	7.0	1.5		8.5		
500 ~ 1,000 1,500 ~ 2,000 2,000 ~ 3,000	5.5 ~ 6.0	N	1.0	0.5		1.5	未結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を500kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素：0.4kg りん酸：2.0kg 加里：4.1kgを差し引く】 ・苦土炭カルを30~40kg施用する。	1. 沖積土を基準とした。 2. 黒ボク土では、窒素を20~30%減肥し、ようりんを20~40kg施用する。 3. 植付け時の基肥は、植穴に施用する。	
		P ₂ O ₅	2.5			2.5			
		K ₂ O	2.0			2.0			
		N	1.5			1.5			
		P ₂ O ₅	2.5			2.5			
		K ₂ O	2.0			2.0			
	500 1,000 1,200 1,500	5.5 ~ 6.0	N	2.5			2.5	結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素：0.7kg りん酸：4.0kg 加里：8.2kgを差し引く】 ・苦土炭カルを60~80kg施用する。	4. 結果樹の苦土炭カル、ようりんは、土壌診断を行い、不足する場合に施用する。 5. 収量、栽植本数は目安を示したもので、樹勢に応じ加減する。
			P ₂ O ₅	4.0			4.0		
			K ₂ O	4.0	0.5		4.5		
			N	4.0		1.0	5.0		
			P ₂ O ₅	5.0			5.0		
			K ₂ O	5.0	1.0	1.0	7.0		
500 1,000 1,200 1,500	5.5 ~ 6.0	N	8.0		2.0	10.0	結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素：0.7kg りん酸：4.0kg 加里：8.2kgを差し引く】	5. 収量、栽植本数は目安を示したもので、樹勢に応じ加減する。	
		P ₂ O ₅	7.0			7.0			
		K ₂ O	7.0	2.0	2.0	11.0			
		N	8.0	2.0		10.0			
		P ₂ O ₅	11.0			11.0			
		K ₂ O	11.0	2.0		13.0			
500 1,000 1,200 1,500	5.5 ~ 6.0	N	10.0	3.0		13.0	結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素：0.7kg りん酸：4.0kg 加里：8.2kgを差し引く】	5. 収量、栽植本数は目安を示したもので、樹勢に応じ加減する。	
		P ₂ O ₅	11.0			11.0			
		K ₂ O	11.0	2.0		13.0			
		N	10.0	3.0		13.0			
		P ₂ O ₅	11.0			11.0			
		K ₂ O	11.0	2.0		13.0			

作物名	栽培型 又は 作型	品種名	樹齡 (年)	栽植本数 (本/10a)	作型模形式図												
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
ブルーベリー	露地	ハイブッシュ系	1~2	ハイブッシュ 333													
		スパータン		ラビットアイ 222													
		アーリーブルー	3~4	ハイブッシュ 333													
		パークレイ		ラビットアイ 222													
		ダロウ	5~6	ハイブッシュ 333													
		ラビットアイ系		ラビットアイ 222													
ホームベル	7以上 (成木)	ハイブッシュ 166															
ティフブルー		ラビットアイ 110															
ゆず	露地		1	110													
			2~3	110													
			5~9	110													
			10~14	55													
			15以上 (成木)	28													

目標収量 (kg/10a)	適正 pH	施肥量 (kg/10a)				堆肥及び土づくり資材等の施用例 (10a当たり)	備考	
		成分	基肥	追肥				成分 合計
				1回	2回			
200 ~ 400	ハイブッシュ系 4.0 ~ 5.0	N	1.0	0.5		1.5	1. 植付け時に適正pHより土壌のpHが高い場合は、硫黄華等を施用する。硫黄華の施用量は、pHを下げるために10~100kg/10aほどだが、土壌の種類ごとに異なるため、土壌ごとに施用量とpHの低下程度との関係を事前に求めてから使用する。	
		P ₂ O ₅	2.0			2.0		
		K ₂ O	1.0			1.0		
N	2.0	1.0	1.0	3.0	2. 速効性肥料は肥料やけを起こす場合があるので、注意する。			
P ₂ O ₅	5.5			5.5				
K ₂ O	3.5			3.5				
600 ~ 800	ラビットアイ系 4.0 ~ 5.5	N	3.0	1.5	1.5	4.5	3. モミガラ、オガクズ、パークなどでマルチを行い乾燥防止に努める。	
		P ₂ O ₅	7.5			7.5		
		K ₂ O	5.0			5.0		
1,000		N	4.0	2.0	2.0	6.0		4. 収量、栽植本数は目安を示したもので樹勢に応じ加減する。
		P ₂ O ₅	10.0			10.0		
		K ₂ O	7.0			7.0		
	5.5 ~ 6.0	N	2.0	1.0	1.0	4.0	未結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を500kg施用する。 【この場合、左の基肥から窒素：0.4kg りん酸：2.0kg 加里：4.1kgを差し引く】 ・苦土炭カルを30~40kg施用する。 ・ようりんを10~20kg施用する。	
		P ₂ O ₅	4.5			4.5		
		K ₂ O	3.5	0.5	0.5	4.5		
500 ~ 1,000		N	3.0	1.0	1.0	5.0		3. 結果樹では、苦土炭カル、ようりんなどの土づくり肥料を、土壌診断に基づき施用する。
		P ₂ O ₅	3.5			3.5		
		K ₂ O	3.5	0.5	0.5	4.5		
1,000 ~ 1,800		N	5.0	2.5	2.5	10.0	4. 収量、栽植本数は目安を示したもので、樹勢に応じ加減する。	
		P ₂ O ₅	9.0			9.0		
		K ₂ O	7.0	2.0	2.0	11.0		
2,000		N	7.0	4.0	4.0	15.0		結果樹 ・オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から窒素：0.7kg りん酸：4.0kg 加里：8.2kgを差し引く】
		P ₂ O ₅	9.0			9.0		
		K ₂ O	12.0	3.0	3.0	18.0		
		N	10.0	5.0	5.0	20.0		
		P ₂ O ₅	15.0			15.0		
		K ₂ O	11.0	4.0	4.0	19.0		